

平成21年6月16日安全対策調査会

資料6-2

平成21年6月3日タミフル臨床WG

資料4-2

※：経続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
：経続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

No	識別番号	年齢 年齢 単位	年齢 単位	性別	PT名稱	タミフル 服用回数	異常な行動発現時刻	該薬中か否 (該薬中:○、 該薬中:やな い:×)	該薬服用後 に発現した 異常行動の 始まりから発現 までの時間	就寝中の様 子	回復までの 時間	一晩引いて いた	嘔吐	意識障害	見取難い	嘔吐の回数	嘔吐による 嘔吐反応	嘔吐による 嘔吐反応	嘔吐による 嘔吐反応	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えなかつた人が幻覚を見たのか、 現が幻覚を見ていたようなど皆しているのか?)	ID実験No	
1	B02001634	1	年	男性	源詮	2002/2/2 2002/2/3 2002/2/4 2002/2/5 2002/2/6	タ 1日2回 1日2回 1日2回 1日1回	2002/2/2 タ服用後	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	経投2日目 入院。離乳食を取らず(投与開始前夜)。 就寝開始後、朝からやや興奮の傾向があったとのことであった。夕方よりタミフル内服開始後、一日中声を出して騒ぐ状態があった。 3日目 テオブリジンの影響を考え血中濃度を測定したが、0.66とむしろ低値。夜間は不眠との事であった。 5日目 タミフル中止。夜間は失眠。 6日目 豊富な回数。 7日目 遠隔通話の機縫となる。退院。一日中声を出して騒ぐ。	1	
2	B05000689	1	年	女性	源詮	2005/3/15 2005/3/16	1日2回 朝食後	2005/3/16 15:00	○	Yes	-	No	-	解熱過程	-	No	-	No	-	無	2005/3/15 夜、突然する汗や頭痛状状で泣き始めく。2005/3/15(11:00)36.9℃午前中から汗をかき始め、昼食後も少し目を閉じながら目立つ。用意しているものでなくなくなり」と訴え16:30に再来院。2005/3/17再度状態少し落ち着き、歩行正常。(11:00)36.3℃(20:00)再び昇温状態。フランクとなり再びタミフル使用を開始。	2
3	B05022579	1	年	男性	①異常行動 ②体温	2006/1/17 2006/1/18	18:00 9:00	2006/1/18 18:00	×	No	-	1時間程度	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2006/01/17 (タミフルエンペルゲン)治療のためタミフル20mg投与。 2006/01/18 (朝)本剤20mg投与。体温は36.3℃で高くて35.1℃。(辰)行動異常に起り出でて活動度で止まると即ちが強化。(22:00)来院。入院にて解説觀察。 体温。 2006/01/19 (7:00)体温は回復。退院。(入院中、行動異常なし) 行動異常は回復。 インフルエンザ回復。	3
4	B06025418	2	年	女性	①源詮 ②異常行動	2007/3/6 2007/3/7	22:00 9:30	2007/3/6 22:30 2007/3/7 10:00	×	No	-	1~2時間	-	1度目は発 熱持続 2度目は解 熱過程	-	No	-	-	No	無	3/6(23:00)ベッド面に頭をガンガンぶつけ、「音を聞けろ」「足音をはずせ」などの言 葉を光して叫びわめ。約1~2時間で起きまい人瓶、3/7(10:00)確証が悪くなり、頭を ベッド面にぶつけたり、部屋の窓をさして閉けて欲しくせんたりする。	4
5	B07010111	2	年	男性	異常行動	2007/4/24 2007/4/25 2007/4/25 2007/4/25 2007/4/26 2007/4/26 2007/4/27 2007/4/27 2007/4/28	タ 朝 タ 朝 タ 朝 タ 朝 タ 朝	2007/4/24 タ	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/4/24 インフルエンザに対して、本剤15mg×2回/日投与。発熱時に認められた 目地所見:発熱37.8℃。クラリトロジン開始。異常行動発現(非重複)。寝ていたはず なのに突然起き上がりて部屋を走り回った。けがになかった。 2007/4/27 インフルエンザ回復。 2007/4/28 異常行動回復。本剤服用後、投与終了。	5
6	B08019530	2	年	男性	異常行動	2007/3/24~ 3/25	1日2回	2007/3/25 2007/3/26 2007/3/27 2007/3/28	①昼間 ②夜間	×	No	-	-	-	解熱後	Yes	-	-	-	かんしゃく ら	2007/03/24 インフルエンザBと診断され、本剤2回内服(2mg/kg×2回)。 2007/03/25 本剤2回内服(2mg/kg×2回)、解熱した。 異常行動発現。泣きわめいて、走り回る。壁に頭を打ち付ける。気に入らない こと行動だと頭を壁に打ち付けたり、ぐずりが今までよりも悪くなつた。 2007/03/27 本剤投与中止。 2007/03/28 日中は問題なかったが、真夜中にまたぐずりが激しくなつた。 2007/03/29 午前中は入らなくなると頭を壁に打ち付けたり、ぐずりが今までよりも悪くなつた。 異常行動回復が多い。地面に頭を打ち付けるのが止まつたの、入院。意識清明 で、神経学的その他身体所見は異常所見は認められなかった。脳波では異常所 見は認められなかった。 2007/03/29 退院。 誤認誤呼である。異常行動は認められなく、臨液検査は未施行。 5位の内、異常行動は徐々に改善していく、ステロイドパルス療法など施行せず、 精神、アセチルコリニン減挙。 異常行動の軽快	
7	B03003660	3	年	女性	失見当識	2003/1/24	15:32	2003/1/24 2003/1/25	夜 13:45	×	-	-	-	-	発熱持続	-	-	No	No	無	2003/1/22インフルエンザ発症。体温(38.3℃)、咳、鼻水、下肢痛、咽頭痛、皮疹感あり。(午後)体温(37.5~38.2℃) 2003/1/23(8:33)受診(38.3℃) 咳、鼻水、特に下肢痛を訴える。 2003/1/24(15:32)受診(38.2℃)と元気なし、咽頭痛あり。インフルエンザと診断し、タミフル60mg/日投与。少しぱーっとした感じあるが、退車あり。夜より、ねじいで動きまる。孫にかかげ、キヨキヨするが何でも喜ばせざ、どこでみているのか窓 点がいたまらない。ぱーとしており全くしゃらない。聞こえているかもわからぬ 状態になつた。 2003/1/25 (13:45)休業。体温(38.9℃)と解熱するも上記症状がづづくならない。感染し た。顔紅潮、呼吸促進。神経検査あり。麻痺なし。神経反射異常なし。瞳孔左右同 大、対光反射あり。耳ひかけもだまつたままで、キロキロです。間に腫がるるか わからない。医師もお腹もよくわからない状態であった。扁桃炎は本剤副作用を考慮 して紹介した。入院後の詳細は不明。EEG、MRI、脳液検査、異常なし。テレマフィン 血中濃度がやや高め。 2003/1/27 症状がでよくなつた。	6
8	B06001533	3	年	男性	意識レベルの低下	2006/3/30 2006/3/31 2006/4/1	タ 朝・タ 10:00	2006/4/1 11:00	-	No	-	5時間	No	解熱過程	-	-	-	-	-	無	(11:00)急に倒れてしまひ、奇声を発しながら何度も何度も自分の顔を押しつけた。母 親が押しつけたが、18時頃まで異様な異常行動が続いた。 (16:00)意識障害回復。その後、精神状況の方はおさがり再燃しなかつた。	7
9	B07010311	3	年	女性	異常行動	2007/2/20	11:00	2007/2/20 15:00	-	-	-	-	No	発熱持続	-	No	No	No	No	無	2007/02/02 インフルエンザ型の診断にて本剤処方。午前11時ごろ1回目の服用、1回 目服用4時間後位に、急に階段をかけ上がつたり、暴走後(服用8時間後位)着反覆い ていない場所に走っておもちゃを口にいれたりといつもはみられない點あり。寝る 前に本剤2回目の服用。KT38度台。 2007/02投与2日目 前日同様、熱が高くぐったりしているのに突然動き出すなど、いつ もう違う行動が見られた。午前中KT38度台。午後には体温低下、その後 stavnessなし。本 剤は日間飲みきつたが、その後は症状なし。アンビス使用せず。	8

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 経続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例
* : 経続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 繰続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
+ : 繰続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
* : 継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 経続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
* : 経続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*: 絶続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*: 絶続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*: 総統投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例

* : 絶続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*：純統投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：純統投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 * : 継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 繰続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 * : 繰続投与後に異常な行動を含む精神神経症癥を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*: 継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*: 継続投与後に異常な行動を含む精神神経症発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 絶続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
* : 絶続投与後に異常な行動を含む精神神経症癥を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 緩徐投与後に異常行動を含む精神神經系症状を発現した事例
* : 緩徐投与後に異常な行動を含む精神神經症狀を発現しなかつた事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
＊：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症症を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 総統投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
* : 総統投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 + : 継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* 活動：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
+ 継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 経続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
* : 経続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*：絶続投与後に異常行動を含む精神神經系症状を発現した事例
＊：絶続投与後に異常な行動を含む精神神經症候を発現しなかつた事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* 経続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
* 経続投与後に異常な行動を含む精神神経症症を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例

*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症徴を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
+ : 継続投与後に異常な行動を含む精神神経症説を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*：経続投与後に異常行動を含む精神神經系症状を発現した事例
＊：経続投与後に異常な行動を含む精神神經系症状を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*：絶続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：絶続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* 緩徐投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
* 緩徐投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*：絶続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
絶続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

* : 継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 総統投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
* : 総統投与後に異常な行動を含む精神神経症発を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* 治療投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 (就寝中:○、 就寝中じゃない: ×)	就寝中の場 合、就寝時 間から発現 までの時間	就寝室での 行動の記録	一晩たりて 就寝室での 時間	体温	体調	患者の記憶	既往歴 既往症等の 既往歴	開院就寝 在室の家庭 状況	既往歴に 付ける反応 アレルギー	既往歴に 付ける不 良反応	既往歴に 付ける既 往疾患	異常な行動の具体的な経緯 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻覚を見ていたようだと言っているのか?)	旧資料No.		
244	B05025583	14	年	男性	異常行動	2006/2/20 2006/2/21 2006/2/22 2006/2/23 2006/2/24 2006/2/25	タ ム タ ム タ ム タ	2006/2/20	11:00	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/2/19 発熱あり。 2006/2/20 (午前6時)インフルエンザ型Aと診断。タミフル75mg×2回/日始方し。ただちにtop服用。(11:00)お風呂場にて度いたが、突然高熱をどたづけ降り、学校へ行かなくちやと言つてからばんざき負うとした。丁度家人が帰り、当人を取りさえ、今日は学校に行かないでも良いと言つてから滞らせた。異常行動発現。異常行動発現時 間:不明。 (12:00)現状症状復。その後も本剤は起床どり服用。特に変わったことはなかった。後で本人は既認したところが全くないとのことだった。家族は発熱によるものと考え特に危険性はないと。2006/2/21 インフルエンザ型経次。本剤を服用後発熱。2006/2/22 インフルエンザ型経次。本剤を服用後発熱。	187	
245	B05025723	14	年	男性	①異常行動 ②激躁 ③混乱状態 ④倦怠	2006/2/5	夜間	2006/2/5	①未記載 ②夜間2時間 前 ③夜間 ④夜間	-	No	-	No	Yes	発熱持続	No	Yes	-	No	No	睡眠状況	小夜間 不利服用にて異常行動を更に強め明け方後。異常行動回復。 2006/1/17 9:30ICUの発熱にて異常行動、インフルエンザ型検査呈。はん/ヒトにも陰性であったが、庭状況にインフルエンザが強く疑われたため、シメントレル21日投与。その後は高熱にて回復せず、異常状態などの訴えがあった。 2006/2/5 日中発熱にて休日当番看護師にて投与。タミフル75mgと診断され、本剤(75mg×2回/日)開始処方。夜間本剤服用後、異常状態がなくなり大戸を大聲で鳴らして起きあつた。未だ高熱は残るが、徐々に改善傾向。夜間は、頭痛、嘔吐、腹痛、頭痛、嘔吐、腹痛。 2006/2/6 正常な行動がかかるが、導入っては目的的に歩く等いた。本人は全く覚えてないとの事。夜間、嘔吐、腹痛、頭痛、嘔吐、腹痛。 2006/2/7 未だ正常な行動がかかるが、導入っては目的的に歩く等いた。本人は全く覚えてないとの事。夜間、嘔吐、腹痛、頭痛、嘔吐、腹痛。 2006/2/8 未だ正常な行動がかかるが、導入っては目的的に歩く等いた。本人は全く覚えてないとの事。夜間、嘔吐、腹痛、頭痛、嘔吐、腹痛。	188
246	B06024434	14	年	女性	転倒	2007/2/18	長	2007/2/18	12:46	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	無	2007/2/19 頭から寒気あり。頭より熱感。 2007/2/16 (9:00)当番受付にて、受付、体温38.2℃、咳が少し、喉が少し、鼻水が少し、喉の痛みが訴えていた。診察後、異常な発熱が認められず、精神・神経系の異常は認めなかた。 (10:00)インフルエンザ型と診断。タミフル、ユニプロ-ゼラギと診断。タミフル、ユニプロ-ゼラギと投与された。タミフルを内服して((1回内服)、(12:46)空腹マニコンドトキ病院でのため、他院にて緊急搬送あり。(13:30)発熱最高潮と心臓停止の状態。(13:00)救急科。心筋梗塞(死因)を行つた。意識は全くない状態。呼吸困難、嘔吐、腹痛。 2007/2/17 未だ正常な行動がかかるが、導入っては目的的に歩く等いた。本人は全く覚えてないとの事。夜間、嘔吐、腹痛、頭痛、嘔吐、腹痛。 2007/2/18 未だ正常な行動がかかるが、導入っては目的的に歩く等いた。本人は全く覚えてないとの事。夜間、嘔吐、腹痛、頭痛、嘔吐、腹痛。 2007/2/19 未だ正常な行動がかかるが、導入っては目的的に歩く等いた。本人は全く覚えてないとの事。夜間、嘔吐、腹痛、頭痛、嘔吐、腹痛。 2007/2/20 未だ正常な行動がかかるが、導入っては目的的に歩く等いた。本人は全く覚えてないとの事。夜間、嘔吐、腹痛、頭痛、嘔吐、腹痛。 2007/2/21 未だ正常な行動がかかるが、導入っては目的的に歩く等いた。本人は全く覚えてないとの事。夜間、嘔吐、腹痛、頭痛、嘔吐、腹痛。 2007/2/22 未だ正常な行動がかかるが、導入っては目的的に歩く等いた。本人は全く覚えてないとの事。夜間、嘔吐、腹痛、頭痛、嘔吐、腹痛。 2007/2/23 未だ正常な行動がかかるが、導入っては目的的に歩く等いた。本人は全く覚えてないとの事。夜間、嘔吐、腹痛、頭痛、嘔吐、腹痛。	189	
247	B06024795	14	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/26	18:30	2007/2/27	1:20	○	-	覚醒後すぐ に発症	No	No	-	Yes	-	-	No	無	<転倒記録からの情報> 2007/2/18 午前、発熱後、母と一緒に病室。本剤を服用して静養していた。 (12:45)自宅マニコンドトキ病院にて血を吐いて倒れていたとの報告見られた。自宅の通路の手すり(高さ1.4m)から転倒経緯の場所にて転倒見られた。地面に倒れた。母親は出かけたため、転倒当時は一人だった。患者は家の上の廊下のエントランスで倒れていた。頭部は全くなく転倒してから病院へ搬送されたが約1時間後に外傷性ショックで死んだ。死因は心筋梗塞である。 2007/2/19 昼、発熱、38.5℃、「がんばれ」と叫びおりののが大きかったため、クラスメイトインフルエンザが流行していると言っていたので、インフルエンザ型と診断。意識状態について(はつきりしない)、四肢痙攣、会員症、会員症。初診で(はつきりしない)問診なし。タミフル75mg×2回/日(1回)、カロナール(200mg)×2回/日(1回)。精神状態:意識障害、四肢多発性の筋弛緩症。心筋梗塞による死因。 2007/2/20 上頸、下唇など筋肉を縮め、マスク換気とともに耳鼻血が噴出する状態。四肢多発性的筋弛緩症。心筋梗塞を試みるが、全く反応なし。(2:01)死亡確認。 <転倒記録からの情報> 2007/2/21 (5:00)タミフル75mg内服。(18:30)タミフル75mg内服。 2007/2/22 自宅マニコンドトキ病院及び隣りの病院にて転倒して死んだ。夜間に目を覚まして床面を起し、床面で頭をもじったが、前の履歴から所定の時間になっておらず、頭痛を見合せた。(12:00)その他の頭痛も見合せた。「トイレに行く」とまとめて居間で倒れていた。玄関の扉をすす音に母が付いて後で追うと、患者は玄関前の廊下に無言で足をかけて走り去った。頭などを強く打ち、市内の病院に運ばれたが、医局もなく死亡した。	190	
248	B05025008	14	年	男性	異常行動	2007/2/17	17:00	2007/2/17	20:30	-	-	-	15分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	無	1月前に1回が2種類が種がいいことに気付けて買つたところ、東急バロゼット内に詰められていていた。その後毎日1回たり、隔日(9:00)2回に1回までかけたり、頭をかむきをしめるような習慣がある。これらの習慣が我が行方でから10分程度続いた。秋葉原到着時刻は念願通り渋谷。	191	
249	B06025685	14	年	男性	異常行動	2007/2/25	19:00	2007/2/25	23:00	○	Yes	約4時間後	1時間	Yes	発熱持続	No	-	-	-	無	2007/2/25 23:00トレイにいこうとベッドから立ち上ったが倒れた。トイレに行つてトイレの中、壁に向かって排泄し、ふらふら歩き出し、台所の床に倒れた。 (2007/2/25 18:00)異常行動回復。	192	
250	B06026126	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/2/23	夕方	2007/2/25	AM3:00頃	○	Yes	-	5-6分	Yes	発熱持続	No	No	-	No	無	突然起き、意識はトレイに行くのかと思っていたら、トイレに通り過ぎ玄関ドアの前で意識消失した。意識はトレイに行くのかと思っていたら、トイレに通り過ぎ玄関ドアの前で意識消失した。その意識を覗き見えた。意識消失は~35分間。その間意識は認めない。頭痛頭痛打撲。	193	
251	B06026444	14	年	男性	異常行動	2007/2/23	19:00	2007/2/23	21:00	X	No	-	3時間	Yes	発熱持続	No	-	-	No	無	2007/2/23 (3:00)88.5℃、(18:00)87.5℃。インフルエンザ型と診断。(18:00)食後、タミフル75mg服用。(21:00)立ち立かない!「外へ出る」と外へ出ようとした。家人が気が付き、手をつかむことによじり退出は止めた。異常行動発現。(24:00)時間管理落ちつからなかったが、どうやら寝覚めできた。 2007/2/24 (7:00)平素に戻る。異常行動回復。37.0℃。インフルエンザ型回復。	194	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症篩を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 総続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
* : 総続投与後に異常な行動を含む精神神経症症を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 経続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例
* : 経続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No.	固別番号	年齢 数値	年齢 部位	性別	PT名稱	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 (就後中:○、 就寝中:やなし: <times>)</times>	就寝中の場 合、就寝時 間から発現 までの時間	回復までの 時間	一晩にして 完全回復	休温	患者の記憶	脳波異常 症候群の基 本的所見	他疾患 既往歴	共に有る行 動の割合	前回投与 回数	前回投与 回数	異常な行動 の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的な何が見ええたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻覚を見ていたようなど書っているのか?)	旧資料No.			
268	B05001829	15	年	男性	①虚驚 ②睡眠	2005/3/20	10時過ぎ頃	2005/3/20	11:30	x	No	-	No	Yes	発熱持続	No	No	No	No	無	2005/3/20 (11:30頃) 使い度で説の分からぬことを言いつながら歩き回っているうち、右上肢屈曲硬直、右に躊躇してられないなり、家へが支え。救急搬送時は全く意識しており、首でかかえてスレスレトライに果せた。病院着時、38.1°C、ややほおってが(3GS)、顔(-)、頭にやや発赤(+)口を動かしにくく、四肢、モーター強度、KNAIで体温正常。脳波GII:異常なし。脳波D:異常なし。(24:00頃)37.2°C、不快となり、眠りにくいといったモニターはせず。	210	
269																					2007/2/8 インフルエンザ型治療のため、タミフル投与開始(5mg×2/日)～2/13。 2007/2/11 インフルエンザ経験・回復。 2007/2/12 (午前)学校で授業中突然歌を歌う。異常行動発現。目蓋が定まらず(目瞼が合わない)異常。癡癡後も嗜睡傾向となり、自若歩姿。(ICSでクタ以上というわけではない)JCSは(24) 2007/2/13 (午後)症状終了ため人病院より紹介。採血、検尿、頭CT正常なし。脳MRI、腰椎穿刺途中で意識して離脱なったが、復れた分は覚めなし。観察入院。ソルデム3Aの点滴。 2007/2/14 (6:00)身じ代計し、病院内を興奮して暴走していると報告。父と相談し、外出・外出治どり。 2007/2/15 (午前)肺掃査にて脳SPECTの検査行うが、やはり興奮して不可能。父への暴力行為も見られ、再び外出治どり。 2007/2/16 (午後)父の元へ。身金を剥取。 不明: 常子子守されていてもいる。その後(?)いつなど、気中力低下が主体となった経過の直後へ変化してしまった。 2007/2/17 (午前)学校へ通学するが、午後院に連れていた(ひいき言っててかない等)。宿で1泊。父の元へ通学するが(午後には会えない)。父が外出する(どう聞く様で)とき、父の元へ通学するが(午後には会えない)。次々に集中力が下落するは回復しつつあるよう毎日にも徐々に改善している。入院前のテスTがある。 2007/2/18 (2/15肺の一道の検査を白瀧)はじめ、全く覚えていないと思う。この段より学校の授業の一連の理解を白瀧)はじめ、全く覚えていないと思う。この段より学校の授業が理解できなくなってしまったこと。2/28～3/1の2泊で父の元へ見て、全く正常に戻ったと評価している。しかし、異常行動がこれまでいたことで、学校の人間に困らかれていた時期があり、本人もそれに困らかれていたと想われる。父の元へは連絡が途絶して出でたり。 2007/2/23 入院料金支払が遅延され本人も嘆(ほど)低い点数だったとのこと。3/28～3/1の2泊で父の元へ見て、全く正常に戻ったと評価している。しかし、異常行動がこれまでいたことで、学校の人間に困らかれていた時期があり、本人もそれに困らかれていたと想われる。父の元へは連絡が途絶して出でたり。	211	
270	B08024378	15	年	男性	①異常行動 ②自殺企図	2007/2/17	晨 22:00	①2007/2/18 ②2007/2/18	1:00 7:40	x	No	-	時間	-	発熱持続	Yes	No	No	-	No	無	2007/2/17 学校の運動室より「8時の點があるるので草履ませませんが、今日直前に運んで行けますか?」と母親へ電話。母親が駆けまどろき、その足で直院へ行きインフルエンザ診察と診断。(要タミフル服用。(12:00)タミフル服用。 2007/2/18 (1:00)発熱を見た。裏れた(本人入り)しかし再現は最初見た姿を見ていよい。目がすぐついた。異常行動発現。(7:40)再度発熱した。玄関のドアを開けようと想つたが開けられず、台所へ行って包丁を持った。調理台の刃で包丁の刃を自分で自分に向けている姿を両親が発見した。包丁は足元に落ちた。家族にて自殺行為を見えたところ(発見)。どうにか自分で自分に向けていたところ記憶ある。全ては覚えてない。7:40)自殺未遂発現。(8:40)自殺未遂状態。異常行動経験。 (時間)午前休:39.6°C 2007/2/19 かかるづけのG説来院。体温:38.4°C。	212
271	B06026795	15	年	女性	①爆聴 ②発疹 ③異常行動	2007/3/13 2007/3/14 2007/3/14	18:00	2007/3/14	21:00	-	-	15分	Yes	-	No	No	No	No	No	不明	2007/3/12 初来院時はインフルエンザギッタで陰性だったため、プロモックスとPAsを投与。 2007/3/13 翌日になって熱が下がらず来院。その取、インフルエンザと診断し本剤7.5mg×1回投与。 2007/3/14 (不規則タミフル7.5mg×1回投与。(16:00)タミフル7.5mg×1回投与、(21:00)夜になり歩行困難)手の震え(非震戻)が5分位続き、その後寝た。起きてからはそのようなことは無かった。また、夜から発疹が発症。 2007/3/15 翌日には全身に発疹がひらがり他院へ紹介し入院になつたため、その後の経緯は不明。	213	
272	B07000085	15	年	女性	異常行動	2007/3/6	22:00	2007/3/7	1:00	○	Yes	2時間半	3時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	無	2007/3/6 (10:00)体温:38.7°C、(11:00)インフルエンザB型発熱のため、本剤7.5mg、ガノール2ml(200mg)投与。(22:00)歩行不能(タミフル7.5mg投与、(2:30)退院)。 2007/3/7 (1:00)歩行困難になっていたが、大声を出し突然起き上がり大聲を出し、封廻中をウロウロ走り出したため、家事が止まつた。目つきも悪かつた。異常行動発現(～2:00)。(2:00～5:00)吐息(ひみち)多く、(5:00)痰発。(11:00)対応。異常行動回復。本剤投与中止。 2007/3/10 インフルエンザ経験・回復	214	
273	B07000078	15	年	男性	①幻覚 ②異常行動	①2007/3/15 ②2007/3/16	①13:30 ②10:00	①2007/3/15 ②2007/3/16	17:00 11:30	-	No	-	15分	Yes	-	No	No	-	No	無	3月15日 17:00異常行動発現。トイレに行くとして玄関に歩いていったので家族が止めに入った。その後寝た。3月18日 11:30異常行動が発現、トイレで母親が死んだ。怖い人が来るとなだれ声でびび顔を打ち倒れる。	215	
274	B07000108	15	年	女性	異常行動	2007/3/6	19:30	2007/3/7	1:30	-	-	-	数秒	-	-	Yes	No	-	No	なし	2007/3/6 (17:00)38.7°C、(2:00)地獄に来院。インフルエンザ空腹性。タミフル7.5mg/日投与開始。(19:30)タミフル7.5mg服用。 2007/3/7 (3:00)地獄状態後、このころの直近木立の中をとて、「何かに追いかかれている夢をみた」と2歳から飛行機が好きであるとした。(19:30)地獄からガラスの窓と両戸を開けて、戸外に出ており、夜は寝るが(同居に)意識がなかった(迷惑本人の言葉)。 15:30和室で暴力を犯され、家事(同居に)意識が失せ者本人の中止。(6:02)当院に緊急で搬送。CT等、レントゲン検査のみならず住宅を、幸いな所だったために別状ではなく、怪我はほとんどないが、少しこわえ入院された。大修車になりかねなかつた。	216	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*: 総統投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*: 総統投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：絶続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
＊：絶続投与後に異常な行動を含む精神神経症発現しなかった事例

No	識別基号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	試験中か否 (試験中に○、 試験中じゃな い: X)	就寝中の場 合、就寝時 間から発現 までの時間	回復までの 時間	完全回復 までの時間	解熱持続	発熱持続	発熱回復 までの時間	発熱回復 までの時間	発熱回復 までの時間	発熱回復 までの時間	発熱回復 までの時間	発熱回復 までの時間	異常な行動の具 体的な詳細 (例)幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 人が幻覚を見たとやうだと言っているのか?	旧資料No		
282	B06025425	16	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/23	夕方	2007/2/23	夜間	○	Yes	—	Yes	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2007/3/5 (朝)38.2°C、本剤投与OKです。(6:20)他院から電話で入院OK。38.8°C。本 剤は投与OKです。】(6:20)他院から電話で入院OK。38.8°C。本 剤は投与OKです。】(6:40)異常行動、せん妄状態発現、暴れだし、階層から飛 び降りようとするが、母親が止める。(10:00)他院から、今意識してないから、救急 車で当院へ搬送。体温は不明。(10:30)異常行動、せん妄状態(確実ではない) (9:00)自殺未遂、少し、ボケているがわからない。意識喪失。脳内右中心部にスバ イク、差し込み式、セレンジン10mgの薬を飲んでいた。点滴ソリュT3 500ml、ビタミンC、セレンジン10mgの薬を飲む。 全く意識にならなかった。	223
283	B07000240	16	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6 2007/3/7	不明	2007/3/7	8:40	○	Yes	—	10~20分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2007/3/7 (朝)39.8°C、本剤投与OKです。(6:20)他院から電話で入院OK。38.8°C。本 剤は投与OKです。】(6:40)異常行動、せん妄状態発現、暴れだし、階層から飛 び降りようとするが、母親が止める。(10:00)他院から、今意識してないから、救急 車で当院へ搬送。体温は不明。(10:30)異常行動、せん妄状態(確実ではない) (9:00)自殺未遂、少し、ボケているがわからない。意識喪失。脳内右中心部にスバ イク、差し込み式、セレンジン10mgの薬を飲んでいた。点滴ソリュT3 500ml、ビタミンC、セレンジン10mgの薬を飲む。 全く意識にならなかった。	224
284	B07000312	16	年	男性	①異常行動 ②疲労	2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28	夕	2007/2/24	21:00	—	No	—	Yes	Yes	—	—	—	—	No	No	2007/2/24 インフルエンザA型と診断、本剤75mg×2回/日処方され、夕方より本剤 開始。(01:00)発熱もさまでいいのに、とにかく走り回っていたがいい気分となり、家を飛び出して20分程度ランニングで帰宅。止めることのできない行動であった。 本剤服用後も2時間後で発熱75.6°C(実測時) 2007/2/27 も下がり、明らかにインフルエンザ症状は改善したにもかかわらず、食 事は極めてあらゆるのには10:00同様家に行くことができない、寝ていてなくてはならないん どさ非重複)が続いた。 2007/02/28 明、本剤内服後改善した。 2007/03/07 食欲はあるのに、とにかく寝ていなくてはならないんどさが回復した。	225	
285	B07005448	16	年	男性	異常行動	2008/12/22 2008/12/23 2008/12/23 2008/12/24 2008/12/24 2008/12/25 2008/12/25 2008/12/26 2008/12/26 2008/12/27		2008/12/23	4:00	○	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	Yes	—	—	—	—	無	2008/12/22 (9:00)発熱、倦怠感あり。妻が(未投)する。(10:00)午睡中に目覚めたら 40°Cの発熱があり(16:00)実測。インフルエンザ確定診断実施。結果:FluB ソンブル探 査研究所等、他の自治体検査所見(実測40°C)、抗原検査、港島郡、本剤75mg×2回/日 内服後も下がり、徐々に改善(8ヶ月後で再びインフルエンザは終焉退廻にてしており、休間でも体温変動があ る)。その後も軽度(10:00)起床。39°Cの発熱持続。許外外出したことは断片的に記憶あり。 2008/12/26 インフルエンザ、吐き・回復 2008/12/27 本剤内服後投与終了。	226
286	B05020874	16	年	男性	異常行動	2009/1/26 2009/1/28	午後 午前	2009/2/1	~	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2009/01/28 基底疾患(不規則)があるため親からとの要望で、インフルエンザ治療のため本剤75mg處 方。気分(元気)悪かったので翌日の内服中止。 2009/01/28 本剤75mg服用。 2009/02/01 異常行動改善。大声を出すなど異常行動がみられ近くの内科に入院となつたが、離院 をほこった。9歳と1歳まで既にアレルギー歴あり、既往歴は管理ができないため精神科の病院へ紹介治療を受けた。 2009/02/21 症状改善した連絡があった。 異常行動の原因			
287	B04007197	17	年	男性	①幻覚 ②下肢骨折	2004/2/2	不明	2004/2/2	夕方	—	—	—	—	Yes	—	No	No	No	—	No	無	2004/2/2 インフルエンザA型と診断。先立時に認められた白内障を見、勃起、後発。 夕暮れ時、夕方、自宅2階廊下に飛び降りた為に両下肢骨折。救急車にて人 院となる。	227
288	B04008399	17	年	男性	異常行動	2004/2/5	10:30	2004/2/5	15:45	○	—	1時間45分	—	—	—	—	—	—	—	—	因業不可耐	2004/2/4 (15:00)発熱、(夕方)投薬、体温:39.5°C、インフルエンザ判別テスト陽性、イ ンフルエンザ潜伏(10:30)から、シンドレル、抗生素点滴投与。 2004/2/5 (午前)発熱、頭痛、鼻汁あると嘔吐した。午前大院受診、体温:38.6°C、インフルエンザ判別テスト(陰性)。18:45~19:00点咳でマジンの本を読む。父 が又泣いてお風呂。本剤を薦め食事とし服用し、シンドレルは中止する旨、木口に伝える。 13:30父と一緒に食事をとり、本剤内服、いつもと変化はない。(14:00)~自宅で留守番 しながら寝る。	228
289	B05021111	17	年	男性	妄想	2004/1/22	夕方	2004/1/22	夜	—	—	—	—	Yes	発熱持続	—	—	—	—	—	不明	2004/1/22 (15:45)突然、妻が東口から自宅を(警戒している)飛ばし出し。(16:00)以上の コンクリートへの飛行及び自宅道路を横断し、四道のガードレールを越え、走ってきたト ラックに身を投げた。救急で他院へ搬送されるも胸骨外傷によるショック死と診断され 2004/1/23 (15:45)突然、妻が東口から自宅を(警戒している)飛行し、(16:00)以上の コンクリートへの飛行及び自宅道路を横断し、四道のガードレールを越え、走ってきたト ラックに身を投げた。救急で他院へ搬送されるも胸骨外傷によるショック死と診断され 2004/1/23 家人を見て怖い、怖いとベッドから逃げるよううなづきをとり、救急車來を受取。発熱 妄想とされた偽宿、CT、EEGは異常なし。妄想発現(伴重篤)。 2004/01/23 妄想回復。	229
290	B07000087	17	年	男性	①異常行動 ②自殺企図 ③舌の麻痺	2007/3/20	10:00	2007/3/20	16:00	X	Yes	—	約3.5時間	Yes	発熱持続	—	—	—	—	No	無	1.意識の疎かに立派に上がり、自殺すると30分強かかる。 ・その間リビングで腰を抜け回る。ピクピク震ぶ。 ・もうダメだ、どうにもならない、外に出ないと興奮。	230

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 総統投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
+ : 総統投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
該該機関にて異常行動を含む精神神経症候を認現したか否かを審査

* : 経験投与後に異常な行動を含む精神神経症鏡を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症証を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 繰続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 * : 繰続投与後に異常な行動を含む精神神経症狀を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 * : 継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

*: 総統投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*: 総統投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
+ : 継続投与後に異常な行動を含む精神神経症徴を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

* : 継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
* : 継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：経続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
が経続投与後に異常な行動を含む精神神経学的症状を発現しなかったを裏付け

*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症発現しなかった事例